



分野 4 都市基盤整備

■現況と課題■

定住人口・交流人口の増加に向けて、市民の合意に基づく計画的かつ調和のとれた土地利用のもと、人々が集う市街地の形成、居住環境の整備、道路・交通ネットワークの整備など、景観に配慮し、利便性の高く秩序ある都市基盤の整備が求められています。

公共交通機関の状況や道路網の整備状況に対する市民の満足度は低く、市の主要施設や集落間のアクセス向上を図る道路・交通網の整備が求められています。

引き続き、伊豆縦貫自動車道の整備を促進するとともに、下田市都市計画マスタープラン等に基づき、都市基盤の整備を促進する必要があります。

■施策体系■

施策 1	道路網の整備
施策 2	港湾の振興
施策 3	公共交通体系の整備





■重点事業■

①橋梁の長寿命化を推進します

老朽化が進む橋梁の大規模な修繕や架け替えを計画的に行い、長寿命化により維持管理を縮減します。

②旧下田町地区の街なみ環境整備を推進します

旧下田町地区に点在する歴史的建造物の保全と活用を図りつつ、それらと調和する質の高い街なみを形成し、市民が暮らしやすく、かつ、来訪者が楽しむことのできる環境づくりを推進します。

③みなとまちゾーンの活性化を推進します

係留船対策を含めた下田港の振興や、道の駅開国下田みなとの在り方など、関係機関と合意形成を図り、みなとまちゾーンの活性化を推進します。

④新たな地域公共交通計画を策定し、公共交通の取り組みを推進します

社会環境に対応した交通網を構築するため、新たな地域公共交通計画を策定し、公共交通に関する取り組みを総合的かつ計画的に推進します。

■目標値■

指 標 名	R元年度(現況)	R7年度(目標値)
都市計画道路整備率	24.56%	27%
修繕対応済み橋梁率	0%	12%
まどが浜海遊公園利用者数	203,000 人	250,000 人
路線再編、公共交通ネットワーク再構築数	1 件	3 件

■個別計画■

- 全 般：都市計画マスタープラン
- 道 路：都市計画道路整備プログラム
- 公共交通：地域公共交通網形成計画





施策

道路網の整備



施策の方向

自然環境や景観を活かしながら、歩行者ネットワークを整備するとともに、市内外へ安全で円滑な移動ができる道路網を整備します。

施策と主な取組

(1) 幹線道路、都市計画道路の整備を促進します

災害や地域発展の核となる伊豆縦貫自動車道の早期完成を促進するとともに、建設発生土を有効に活用します。

主な取組

- ・伊豆縦貫自動車道の早期整備促進
- ・下田市都市計画道路整備プログラムによる計画的な都市計画道路の整備
- ・伊豆縦貫自動車道の整備に対応した主要幹線道路整備の促進
- ・伊豆縦貫自動車道建設発生土の有効活用の検討

(2) 道路の整備、維持管理を推進します

道路や橋梁等の計画的な維持補修を進めるとともに、市民等との協働による道路美化活動を推進します。

主な取組

- ・市道の計画的な維持補修
- ・【重点】橋梁長寿命化修繕の推進
- ・アダプトロード等、道路美化活動の促進

(3) 歩行者ネットワークの整備を推進します

回遊性の高い歩行者ネットワークの整備や、歴史的風致の維持向上を図り、歴史文化遺産を活用した環境づくりを推進します。

主な取組

- ・【重点】道路美装化及び歴史的風致形成建造物に対する助成
- ・大川端通り周辺地区の整備





施策 2

港湾の振興



施策の方向

道の駅と隣接する立地条件や港の持つ機能を活かし、人の集まるにぎわいの場を創出します。

施策と主な取組

(1) 港湾機能の整備を促進します

避難港機能の充実を図るため、下田港防波堤（外防波堤）の建設を促進するとともに、漁業基地、海洋レジャー基地としての基盤整備を推進します。

主な取組

- ・ 下田港防波堤（外防波堤）の整備促進
- ・ 外ヶ岡物揚場の整備等、下田港港湾設備の整備促進
- ・ 下田港浚渫の促進

(2) にぎわいを創出します

多種多様なマリニイベントの開催を推進するとともに、まどが浜海遊公園及び道の駅開国下田みなとの有効な利活用を検討し、にぎわいを創出します。

主な取組

- ・ 官民連携による多種多様なマリニイベントの開催
- ・ 【重点】みなとまちゾーンの活性化の取り組みの強化【再掲】





施策 3

公共交通体系の整備



施策の方向

市民や来遊者が利用しやすい公共交通体系を維持・構築するとともに、人口減少社会に対応した持続可能な公共交通の実現を目指します。

施策と主な取組

(1) 公共交通の維持確保に向けた取り組みを推進します

公共交通の利用者確保や運行維持に向けた取り組みを推進します。

主な取組

- ・【重点】新たな地域公共交通計画の策定
- ・路線バス事業者への運行支援
- ・鉄道事業者の安全対策への支援
- ・モビリティマネジメントの強化
- ・地域協働による利用や路線を維持するための取り組みの実施
- ・自治体間連携による観光客が周遊しやすい環境整備の促進

(2) 利便性の高い公共交通体系の構築を推進します

地域需要、特性に合った交通システムの選択や路線再編を推進します。

主な取組

- ・地域特性や観光需要に対応した交通体系の構築
- ・MaaSやAIなど新技術を活用した新たなモビリティサービスの検討

(3) 交通結節点の整備、充実を図ります

玄関口としての景観や利便性の向上のため、下田駅前広場を含む伊豆急下田駅周辺地区の整備を検討します。

主な取組

- ・交通結節点における情報案内の充実等、二次交通の環境改善【再掲】
- ・伊豆急下田駅周辺地区の整備の検討
- ・陸上交通と海上交通の接続など、陸・海が一体となった交通ネットワークの検討

